

教員・公立保育士採用試験の結果

9月から10月にかけて、今年度の教員採用試験の結果が各自治体より発表になりました。教職センターで掌握している今年度受験した学生は、小学校13名、中学校・高等学校11名でした。合格者は、神奈川県5名（小学校4名、中学校英語1名）、横浜市2名（小学校）の計7名でした。それ以外に、卒業生で神奈川県2名（H29卒2：高等学校国語、中学校家庭科）、川崎市3名（H27卒1、H28卒2：小学校）、東京都1名（H28卒：小学校）の計6名の合格報告がありました。



今年度の傾向としては、全国的な児童数・生徒数の微減により採用人数や合格者人数が下がったり、大学推薦に関わる基準枠や試験方法が従来と変更になった自治体があったりするなど、受験生を取り巻く状況は厳しくなっています。教職センターとしては、早めの情報収集とそれに向けた対策の計画と実施を進めていく所存です。

一方、公立保育園の保育士は自治体により試験日・発表日が4月から12月と幅広いため、確定したわけではありませんが、10月25日現在把握しているのは、相模原市4名、世田谷区4名、品川区2名、静岡県長泉町1名です。この他にいくつかの自治体で補欠合格となったケースもあります。まだ発表待ちや今後受験する場合がありますので、今後の状況を把握していきたいと考えています。

今後の予定として、合格した学生にはこれから教職や保育士を目指す下学年生に、合格するまでの勉強法や心構えなどを話してもらう「今年度受験生と在校生の交流会」（11月29日（木）6限）予定です。その際には、「2018合格体験記」も配付するつもりです。また、残念ながら合格できなかった学生には、今年度合格した卒業生を招き、働きながら試験に臨むノウハウ等を話してもらう「アフターフォロー講座」（12月下旬）を開催する予定です。

H30年度教職センター秋学期講座が始まりました

今学期も、関係学部学科の先生方のご協力をいただき、全26の教職センター講座を開催しています。110名の学生から申込みがあり、次年度の採用試験に向けた勉強が始まりました。継続して受講し、自分の力を蓄積してほしいと願っています。

